

平成29年度全国学力・学習状況調査結果及び 伊丹市学習到達度調査結果報告

6年生を対象に、平成29年4月18日(火)に行われた「全国学力・学習状況調査」及び4月21日(金)に行われた「伊丹市学習到達度調査」について、本校の結果及び今後の学力向上プラン等をお知らせいたします。

なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 児童に対する調査内容

○平成29年度全国学力・学習状況調査

(1) 学力に関する調査

【国語A・算数A】それぞれ20分

○身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)を中心とした出題

【国語B・算数B】それぞれ40分

○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題

(2) 学習状況に関する調査(児童質問紙) 40分(20分程度の分量)

○小学校6年生の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査

○平成29年度伊丹市学習到達度調査

(1) 学力に関する調査

【社会・理科】それぞれ40分

○「基礎」問題・「応用」問題

○学習状況に関する質問(時間に含まない)

2 調査結果について

○平成29年度全国学力・学習状況調査

(1) 学力に関する調査結果について

国語A・B並びに算数A・Bのすべてにおいて、兵庫県平均、全国平均を上回りました。特に、国語Bにおいては、県及び全国を有意に上回っています。

国語については、A・Bともに、「話す・聞く能力」においては県及び全国を有意に上回りました。

算数Aについては、「量と測定」「図形」の領域で県及び全国を下回っています。また、「数量や図形についての知識・理解」の観点においては、県及び全国をやや下回っています。算数Bについては、「数学的な考え方」と「数量や図形についての知識・理解」の観点において、県及び全国を上回っています。

(2) 学習状況に関する調査結果から見る成果と課題について（特筆すべき点）

①学習の基礎となる活動・習慣に関する項目

- ・生活習慣に関する項目（早寝・早起き・朝ご飯、寝る時刻・起きる時刻等）のポイントが高いものの、全国をやや下回っています。
- ・家庭学習習慣に関して、家で学校の宿題はしっかりとしているものの、予習や復習をしている児童は少数に留まりました。
- ・自分の考えや意見を発表することを得意とせず、自分の意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめることは難しいと感じている児童が多く見られました。

②規範意識と自尊感情に関する項目

- ・規範意識に関する項目は全体的に高いですが、本校の経年比較をすると、「学校の決まりを守る」「人が困っているときに、進んで助ける」などの項目においてポイントが低くなっています。
- ・自尊感情に関する項目は全体的に高いですが、「失敗を恐れなくて挑戦すること」に困難さを感じています。

③学校生活・家庭での生活に関する項目

- ・学校へ行くのは楽しいと感じている児童は、全国を下回っていますが、友だちに会うのは楽しいと感じています。
- ・普段、3時間以上テレビやビデオを見たり聞いたりしている児童が、38.7ポイントあり、全国を上回っています。
- ・携帯やスマートフォンの約束のない家庭が、16.1ポイント、テレビを見る時間やゲームをする時間の約束のない家庭が半数を超えています。

○平成29年度伊丹市学習到達度調査

(1) 学力に関する調査結果について

社会については、「社会的な思考・判断・表現」の観点に課題があります。領域では、「わたしたちの国土と世界の国々」「日本の国土のようす（気候）」に課題があります。

理科については、「観察・実験の技能」の観点に課題があります。どの領域も基礎的な理解はしているものの、活用に課題があります。

今年度の調査結果から、いくつかの課題（学習・生活面）が明らかになりました。

基礎・基本の定着は、おおむね図られている児童が多いものの、家庭学習において、計算や漢字の反復学習をしたり、今日の学習の復習・明日の学習の予習をしたりすることでさらに学力の向上が図られます。学校でも取り組んで参りますが、ご家庭においてもご協力をお願いします。

また、学校において、活用力・思考力・表現力を培う学習を取り入れてきた結果、考える力や文で表現する力が付いてきつつあると感じています。さらに子どもたちが主体的で深い学びができるよう授業改善に努めます。そして、児童一人ひとりに応じた指導方法の工夫・改善など、今後一層取り組んで参ります。

伊丹っ子の良さは、「素直さ」や「明るさ」、「一生懸命さ」です。それは、学びの基礎的要素のひとつだと考えます。また、「食事」等生活習慣の確立などは、ご家庭の支援の賜物です。

未来で活躍する子どもたちのために、これからも、学校と家庭・地域が手を携えて、情報共有するとともに、伊丹っ子の良さを大切にした伊丹っ子のための取り組みを皆様と連携して参りたいと考えています。

裏面に、**伊丹小学校の学力向上プラン**を掲載しています。このプランを基に、今後学校では、子ども一人ひとりの良さを伸ばしつつ、着実に実行・改善に努めて参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

◎伊丹小学校学力向上プラン

(昨年度からの継続も含む)

1 学校において

(1) 学習面

- ①授業スタイル「伊小スタンダード」の更なる充実
 - ・見通しを持って取り組む授業
 - ・「めあて」と「ふり返り」のある授業
 - ・自分の考えをもたせる場、時間の確保
 - ・グループでの協議、討議をする時間の確保と全体交流の持ち方の工夫（ホワイトボード等の有効活用）
- ②ノート指導
 - ・文字を丁寧に書く
 - ・わかりやすく整理する
 - ・テーマや条件に沿った文章を書く
 - ・資料等から読み取れることを、まとめる活動を取り入れる
- ③ICT機器の積極的な活用と授業の工夫
- ④学力を保障する時間の設定と指導内容の工夫・改善
 - ・「学力保障の日」「サマースクール」での学習内容の定着（指導内容の質的向上）
 - ・サタデースクールとの連携
- ④家庭学習の習慣化と学習内容の工夫
 - ・家庭学習時間の目安の提示で意識付け（15分×学年）
 - ・「予習」「復習」の取り組み
- ⑤チェックテストや朝学習の計画的な取り組み
 - ・普段の学習とつなげ、つまずきの早期発見を行い、確実なフォローアップをすることで学力のボトムアップにつなげる（PDCAサイクルによる実践）
 - ・読書の日の徹底

(2) 生活面

- ①「あいさつ」や「返事」を元気良くする
 - ・指導の徹底、教師がまず見本に！
- ②携帯電話やスマートフォンの高所持率から、情報モラルの指導を充実させる
- ③持ち物や教室の整理整頓等により学習環境を整える
- ④「いじめを許さない」安心できる環境づくり
- ⑤委員会活動や自主的活動の充実による自己肯定感の醸成
 - ・右側通行や廊下を歩くことの意義など、学校の決まりを自ら意識して守る
 - ・みんなで協力して何かをやり遂げる経験をさせる
 - ・企画、運営など自主的な取組を行う

2 家庭・地域と連携して

- ①「やるゾウカード」を活用し、生活や学習・読書習慣の見直しを図る
 - ・家庭学習の内容の工夫や家庭での読書の推進に努める
- ②「あいさつ」や「返事」を元気良くする
 - ・保護者、地域への啓発（家庭で「おはよう」「おかえり」等の挨拶習慣）
- ③携帯電話やスマートフォンの利用についての共通理解
 - ・利用の仕方や使用時間などについての家庭での約束づくり
- ④地域行事等への参加により、地域を愛する伊丹っ子を育成する